

企画展「ヨコハマの輸出工芸展」・関連イベント開催のお知らせ

横浜市歴史博物館では令和6年2月3日より企画展「ヨコハマの輸出工芸展」を開催します。本展では、幕末の開港以降、横浜から海外へ向けて輸出された工芸品とその歴史を紹介します。

展覧会概要

【会 期】 令和6年2月3日(土)~3月10日(日)

【開館時間】 9時~17時(券売は16時30分まで)

【休 館 日】 月曜日(ただし2月12日は開館)、2月13日(火)

【会 場】 横浜市歴史博物館 企画展示室

【主 催】(公財)横浜市ふるさと歴史財団

【共 催】 横浜市教育委員会

【観覧料】一般500円、高校・大学生400円、小・中学生・横 浜市内在住65歳以上300円(企画展示室のみ。同時 開催の「令和5年度横浜市指定・登録文化財展」と共 通)



【開催趣旨】

横浜では、幕末期の開港とともに、文字通り「港を開く」ことによって海外との貿易はもちろん、それにともなった様々な文化の往来がはじまり、その時代のニーズに合わせた商品が輸出されてきました。本展示では、横浜から海外へ向けて輸出された工芸品の中から、横浜真葛焼、横浜芝山漆器、横浜彫刻家具、横浜輸出スカーフの4つをとりあげ、「横浜発、世界へ」と渡った品々とともにその歴史の一端を概観します。

本展は「令和5年度横浜市指定・登録文化財展」と同時開催です。

関連イベント

講演会や展示解説を企画しております。詳細は当館ホームページをご覧ください。

- ◆特別講演会「開港都市横浜が育んだやきもの 眞葛焼」〔2月25日(日)〕 宮川香山 眞葛ミュージアム館長の山本博士氏による講演会です。(事前申込制)
- ◆ギャラリートーク〔2月10日(土)・2月24日(土)・3月9日(土)〕 担当学芸員による展覧会の見どころを解説します。(申込不要)



山本博士氏

一般公開に先立ち開催前日の2月2日(金)14時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸 員が展覧会の見どころをご案内いたします。詳しくは1月中旬にお知らせいたします。

お問合せ先

横浜市歴史博物館 TEL 045-912-7777

副館長:刈田均 学芸員:小林光一郎 広報担当:花澤明優美、野口文恵、羽毛田智幸